

勇者パーティーから追い出された

俺は

魔術師

として

THE COMIC

生きることになった



[漫画] 弥弛
[原作] 淡海翁人
[キャラクター原案] sabet



[漫画] 弥弛

はじめまして弥弛です。「みち」です。

よく読めないと言われます…。

はじめてコミカライズをやらせて
いただきます。というかほとんど漫画描いた
ことがありません。ごめんなさい。

少しでもこの作品の魅力が
伝えられるように頑張ります!!

[原作] 淡海翁人

道譲りて

めでたき行い

あるならん

年経りてなほ

見ゆはめでたし

Yusha party
kara oidasareta ore wa
The [unclear] toshite
[unclear] tatta

THE
COMIC **1**



[漫画] 弥弛
[原作] 淡海翁人
[キャラクター原案] sabet

勇者パーティから
追い出された俺は
「ティンポ師」として
生きることになった



CONTENTS

第 1 話 005

第 2 話 049

第 3 話 081

第 4 話 103

第 5 話 127

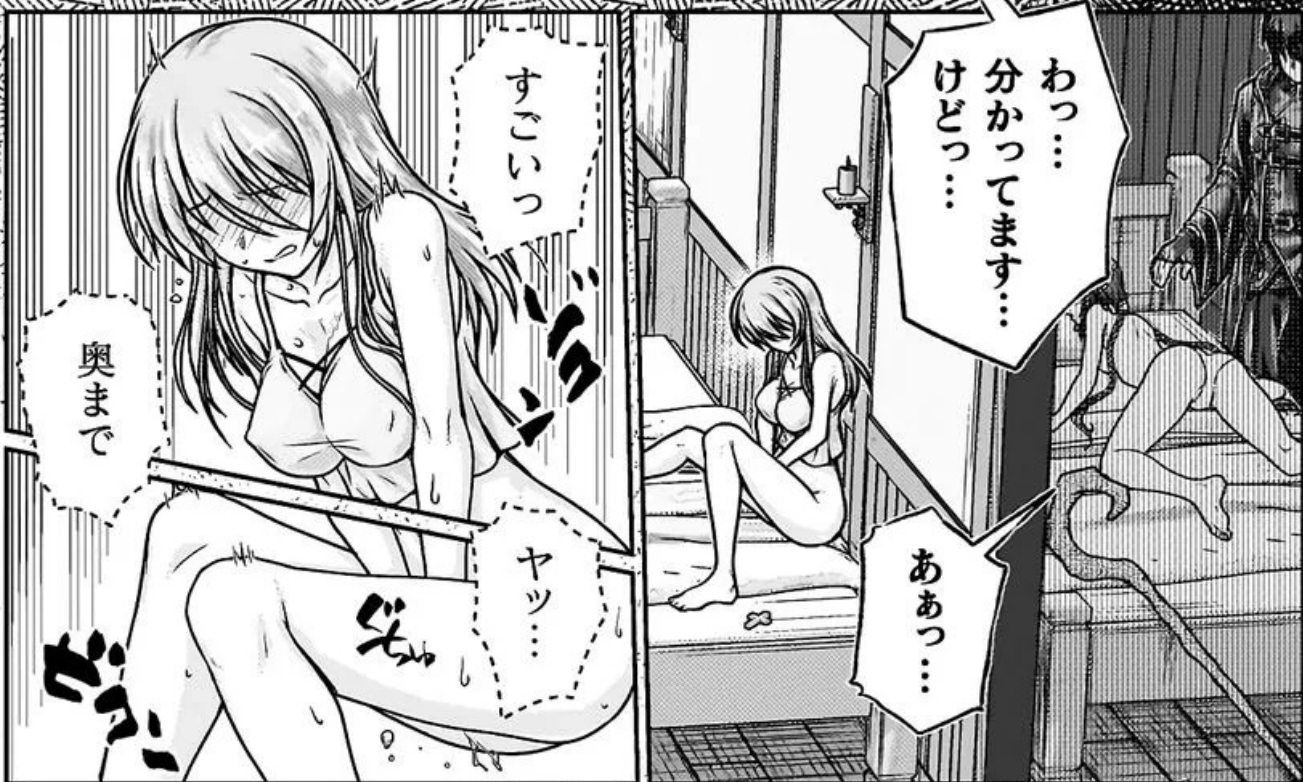
描き下ろし 151

あとがき 154



おじなまき……っ
もっど……
ゆっくり……!

どうしたエメリン?
いつもの魔力調律だぞ



わっ……
分かってます……
けど……

あぁっ……

すご……

ヤッ……

奥まで

ガン



あの男……
追い出してやる!



もう我慢
できない……!

んんっ……

第 1 話



人族の住む領域の最北端にある街
ナローカント

魔王打倒の旅の途中

魔族領域を臨む
その城壁の上に
勇者パーティはいた

数十キロ先まで続く
瘴気を吹き出す沼地
蠢く魔物の影

吹く風は冷たく
空気には僅かな
毒素を含んでいる

ここからは魔族の
支配地域となる

今までのようには
いかないだろう

ディック・スティッフロッド
人類最強の賢者
勇者の選定者

そうだね

街に泊まることもできない
だろうし野宿が続くのかな

お風呂にも
入れませんね

水浴び……も
難しいでしょうか

イリナ

調和神に仕える僧侶

水は貴重だ

左様な目的で
無駄にはできぬ

アラメア

聖剣に選ばれし勇者

ウヅキ

東国から来た剣士

水浴びは
難しいでしょうけど

びんすっ

飲み水は切らさない
ように頑張りますよ！

エメリン

ディックの^{めい}姪であり
弟子の魔術師

魔法で
飲み水は
作れる
魔力切れ
には注意が
必要だが

俺もお前たちが渴くこと
のないように尽力しよう

この杖に
かけてな



杖にかけて……
ねえ……？

じと

ズズと……

べつに
ディック殿は

変な意味で言ったわけでは
ないと思うのだが……

オリビア
ぎんゆう しじん
元盗賊の吟遊詩人

カティナ
鉄刃帝国の主神を祀る
神殿騎士

申し訳ありません
これ以上の侮辱を受けては

私はこの旅に
ついていくことが
困難です……

キアラ！
君が出て行く
ことはない！

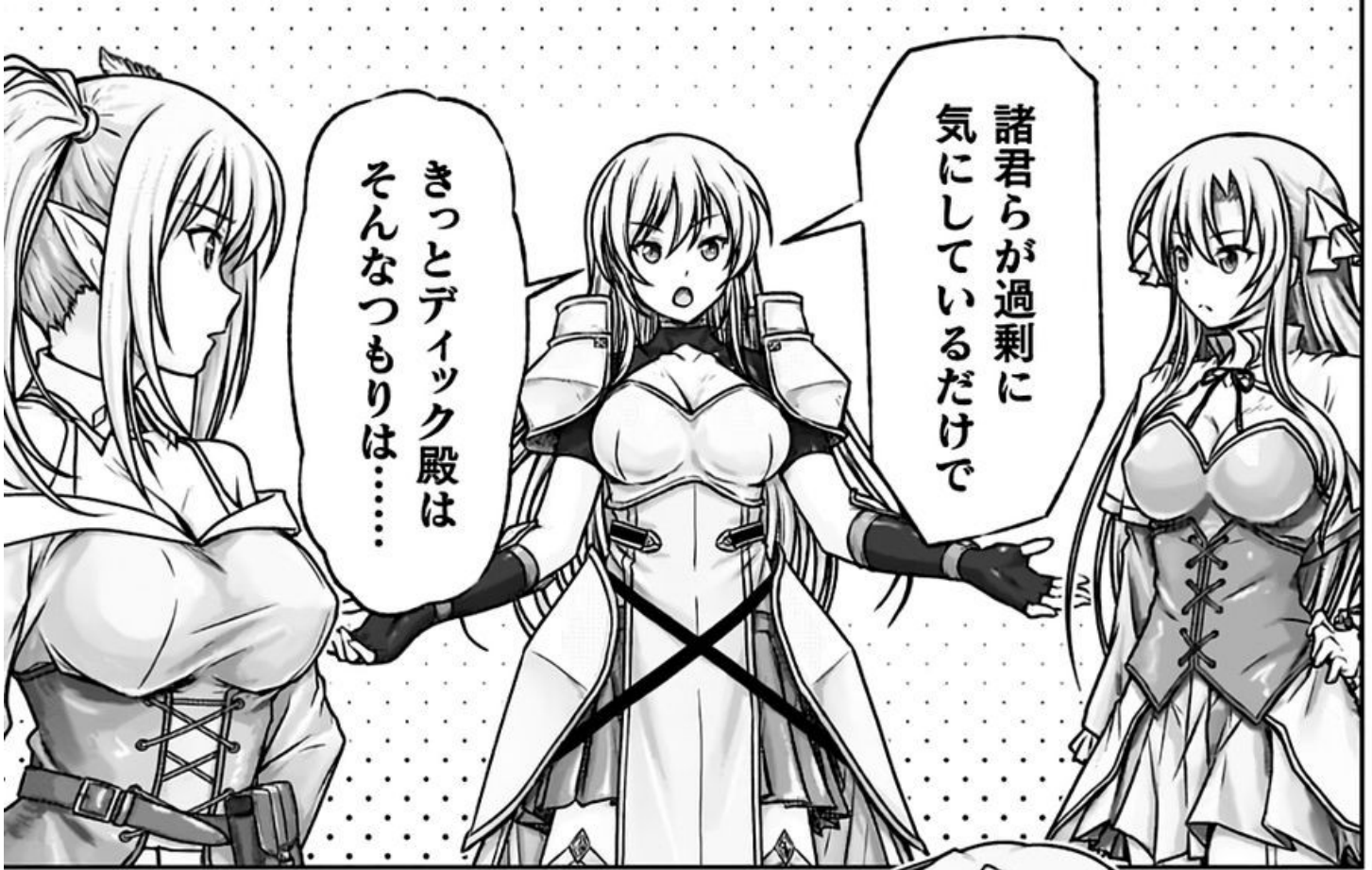
しかし……

キアラ
エルフの精霊使い

なんでそんな話にな
ってるんだ？

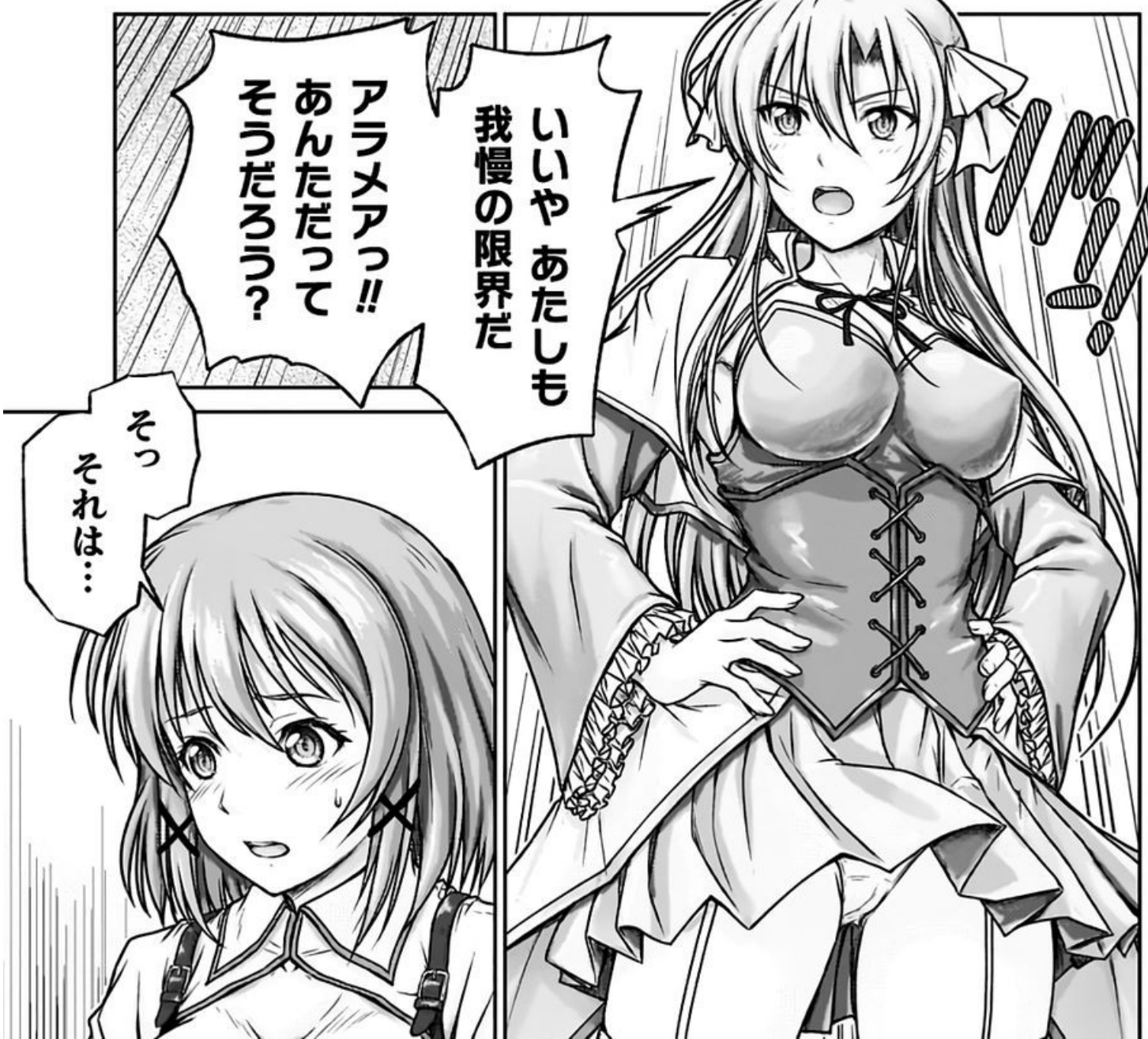
んん？





諸君らが過剰に
気にしているだけで

きっとディック殿は
そんなつもりは……



いいやあたしも
我慢の限界だ

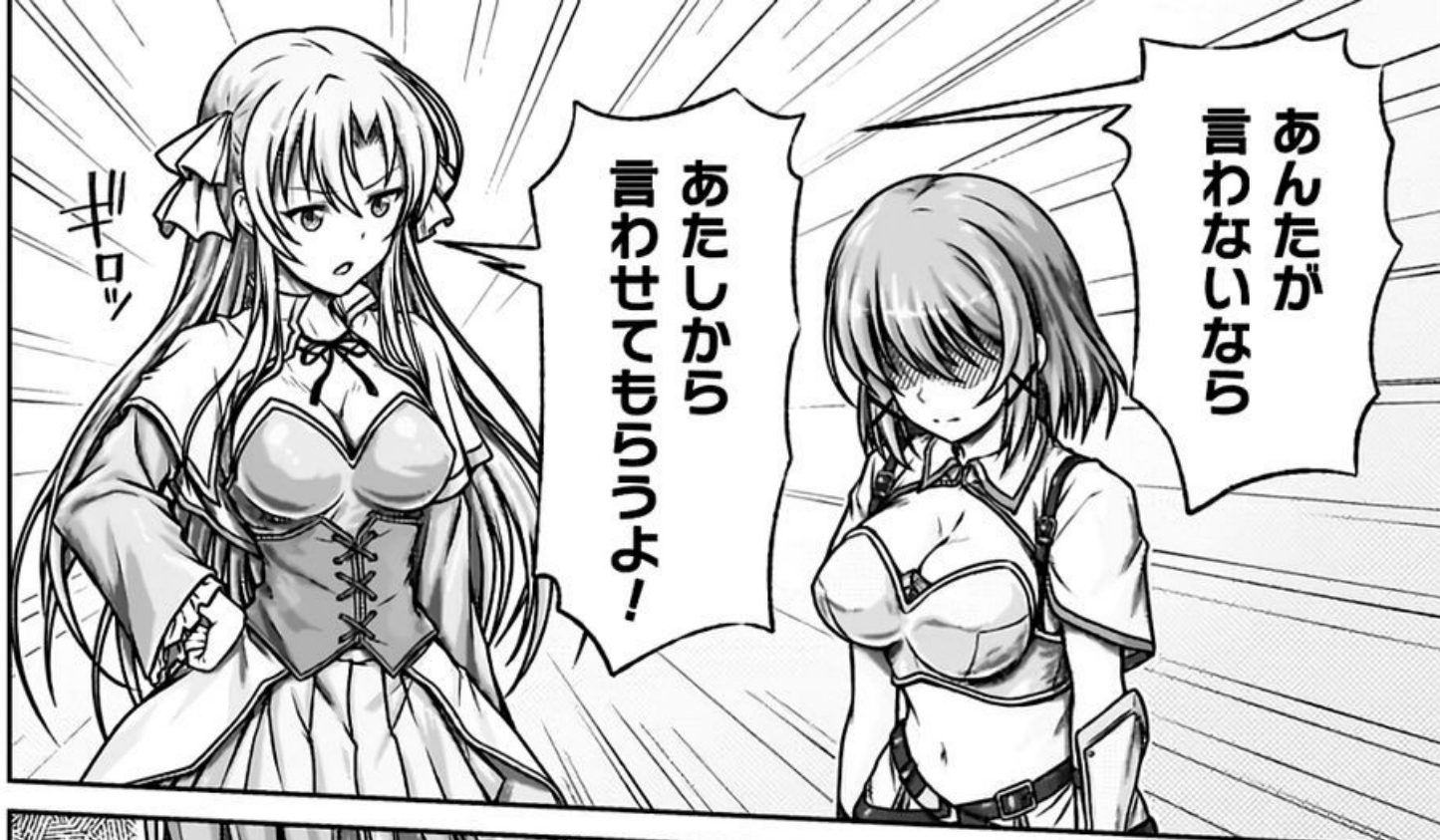
アラメアっ!!
あんただって
そうだろう?

そっ
それは……

あんたが
言わないなら

あたしから
言わせてもらおうよ！

ギロッ



賢者デイック

すまない



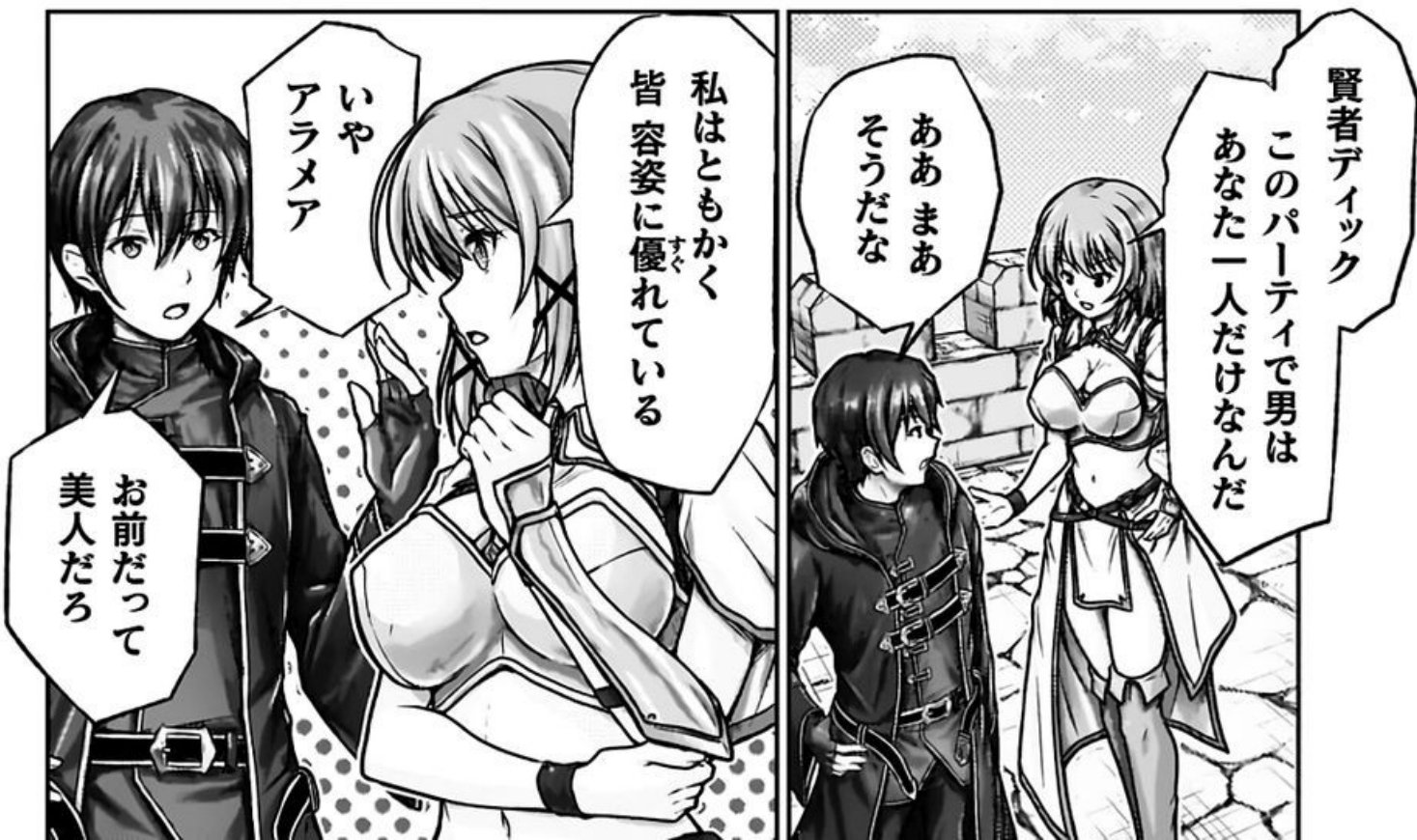
あなたには
パーティーを

抜けてもらいたいんだ

リーダーとしてこれ以上の
不和は見過ごせないんだ

は？

こんなタイミングでの
勧告になってしまって
申し訳ないとは思っている





モ
どうせ私たちが
淫らな目で
見ているのでしょうか？

ディックさん……

セクハラ……

く……
そういうことは
言わなくてもいいんだ



いやそれ
読んだ本が
偏りすぎだぞ

人族の書物に書いて
ありましたから……

いやらしいこと
をしたいと
思っているって

女をおおか……

知っているんですよ
人間の男はいつも
こ股間を膨らまして



っていつかそれ
生理現象だからな

いやッ
見るなよ!!

用足しに行くフリをして
ユソユソ抜いてるのを
この目で見たんだからね

実際にさあんな
あたたかちちを見て
勃起してるんだろ

カ
コ
ゴ

天使の法衣とか
水精霊の羽衣とか
ドライアドローブみたいな

スケスケだったり
布地が少ない
服を装備した
直後にばっかり

何をオカズに
してるのか
丸分かりなんだよ

そりゃ
たまたまだろ

あとあんた
街に着くたびに
娼館に行ってたよね

そりゃあ
行くこともあるだろ

それにしたって
毎回じゃねえよ



ディック殿

お主宿では
いつもエメリン殿と
同室だったな

そりゃあ

まあ
家族だし

お主の言う
家族とは

毎夜身体を弄って
嬌声をあげさせる
関係のことか？

ウヅキさんッ

だからそれは
師匠が私の魔力回路を
強化するために……

エメリン
そう言うように

口止めされて
いるんだろう？

無理を
するんじゃない

だからっ

それも誤解
なんです！

魔力調律は
魔法使いの師弟では
普通の修練法なんだが

すまない……

ディック殿が
欲情したとしても

私一人で相手をするから大丈夫だと
説得したのだが……

無念……

カティナ……
それかなり
斜め上の
発想だよな

おまっ……

カティナさん！
何度も言っているが

あなたが
犠牲になる
必要は
ないんだ！

ほん





正直な話
襲われるかもしれない
と思ったことは

一度や二度では
ないんだよ…

魔族の領域で
野宿なんてしたら
誰も助けてはくれない



そんなことはしない

ああ

おそろくしないだろう

でも

これからのことは
分からない

だからみんな
恐れているんだ

賢者ディック あなたは強すぎる

あなたが私たちの
せいさつよだつ
生殺与奪の権を
握っているんだ

それが
私たちに
とって

どういう意味を
持つのか
どうか考えて
ほしい

俺は
パーティの要かなめで

問題の
解決役だった



俺はみんなの

仲間のつもりだった

俺は
エメリンの
おじ
叔父で

師匠だった

俺はアラメアを

勇者として見出した

選定者だった



アラメアが聖剣を
抜いた場に立ち会い

身寄りのない彼女が利用
されないよう後ろ盾になった

エメリンを育てる傍ら

勇者の教育に
力を入れた

世界中に
足を運んで

多種多様な剣術の
使い手を招聘した

今いる仲間は

各勢力に頭を下げて

勇者を
補佐するために

集めた人材だった

今まで自分が

恐れられていた

なんて考えた
こともなかった

分かった

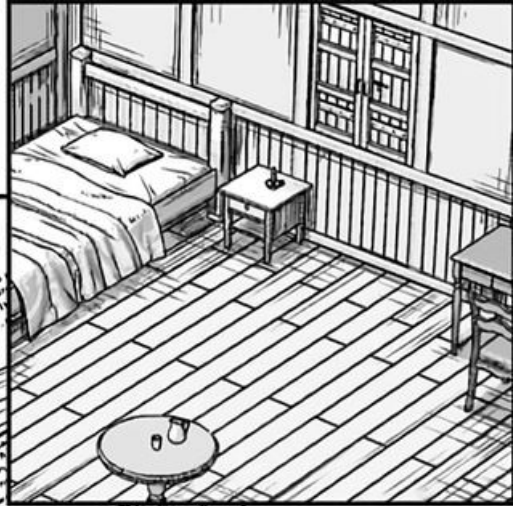
アラメア
みんな

今まで
世話になったな



あなたへの恩は
決して忘れない





魔族領域を旅した
経験に基づく
注意事項を
書き残しておこう

俺無しであそこには
踏み込むと
思うと心配だ

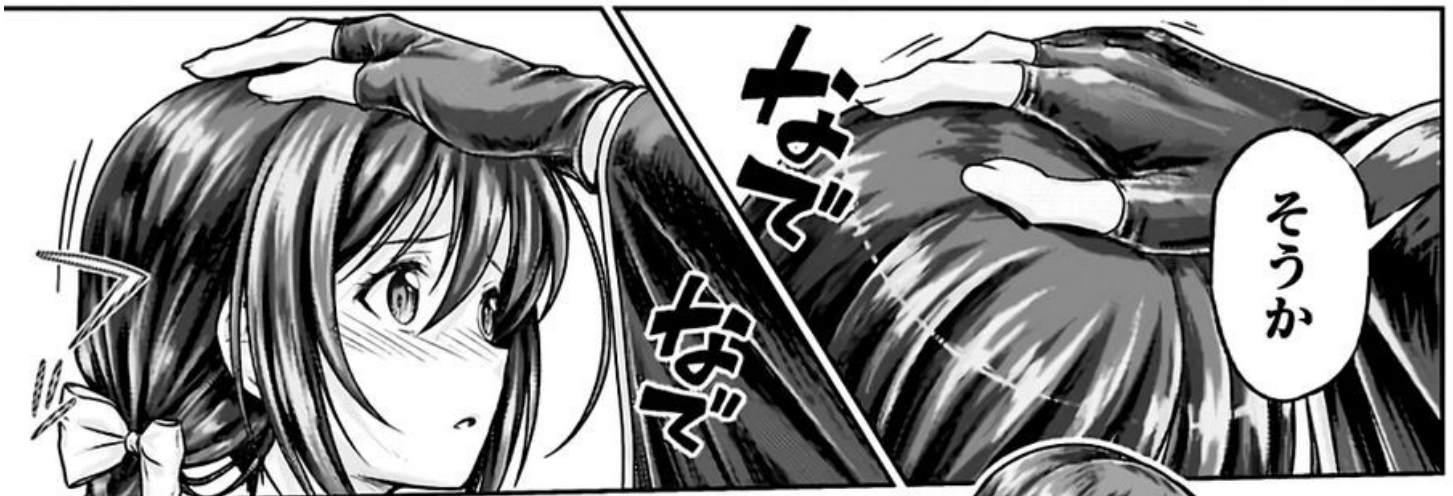


失礼します 師匠

エメリンか

姪のエメリン

ふらふらと世界中を
飛び回っている姉の
代わりに面倒をみている





ああ
未経験でいきなり
突っ込むのは
危険だからな

これは!?

『魔族領域の手引書』

ぽん

ちようどいい
さっきできた
ところだ



ありがとうございます

俺はお前たちに
死んでほしくは
ないからな

少しでも知識が
あったほうがいい

師匠



大丈夫だ
お前は優秀な弟子だ

師匠……

俺はこれから
何もしてやれん
からな……



魔力も順調に育っているし賢くて機転が利く

あと足りないのは経験くらいだ

死なないように気をつけて

何度もこの街に戻ってきなさい



助言くらいはしてやるさ

はい師匠

そうだ

お前にやるものがある

はい？



服を全部脱いで

そこのベッドにうつ伏せに寝なさい

えっ!?

えええええええっ??



ふっふっふっ

あっ
あの……

ふつつか
ものですが……



ふつつか



それは知ってる

しっ...
師匠...



できれば優しく
してください

どうか俺も
初めてだから

痛くないように
入れられるかは
分からん



わっ
分かり
ました...

相手が
師匠なら

大丈夫です...

ディック
おじさまなら

ひゅっ!!

びっ

とっ

エメリンには何度も
魔力譲渡やら整流やら

色々な魔力調律法を
施してきた

安心して
俺に全部
任せていれればいい

俺の全てを

ここに

注ぎ込んでやる

はいっ

おじさまの
いっぱい
中にください!!

しかし流石に
魔力の完全継承は
やったことが
ないからな

いいか
入れるぞ?

大半の師匠は
一生に一回
やるかどうかだろ

ああの
おじさま!

うん?



私

おじさまのこと
ずっとずっと
好きでした！

うん
そうか

そりやあ
ありがとう

へんへん

あの
もう大丈夫
ですから

どうか
ひと思いに
やっってください



俺は賢者ではなくなる

エメリンにとつての
大好きな師匠では
いられなくなる

少し寂しい気もするな







エメリンの魔力が
一気に上昇したな

俺は賢者としての
全ての能力を
失ったが…

その力は
エメリンの中に
継承され生きている

よかった
ちゃんと**成功**
したみたいだ



えっ!?

まだ
性交してな……

あっいえ
なんでもないです

すみません
少し勘違い
してました

ん?

カツ
カツ

使いこな
せるか?



毎日
基礎練習を
繰り返して
いれば

一週間ほどで
馴染むはずだ



あっ
はい……
えっと……

まだ少し
ぎこちないですね



そこから
自分で成長して
いくんだぞ

師匠……

これからは
師匠がそばにいないから

だから私に
全部くれたんですね……

かっ！



ああ
そうだ

本当は
自分の死期が
迫ってから
行う術だが

まあその前に
お前が魔族領域で

くたばったら
元も子もないからな



本当は
私……

ずっと師匠と
いたかったのに

力なんて
いらなから

師匠について
来てほしかった……

かっ！





新しいクラスでも
取って再就職かな

まあ
冒険者ギルドで
再登録して

そういえば師匠は
これから
どうするんですか？

キムッ



そうだと
いいですね

おはは



大変ですね…

私の
せいで…

気にするな



腐っても
元大賢者だぞ

すぐに
強くなって
またお前らに
追いつく
かもしれんぞ

おは

あの師匠にとって

私はまだ子供ですか？

ん？
まあ

そろそろ
一人前だが

そうだな……
たぶんずっと

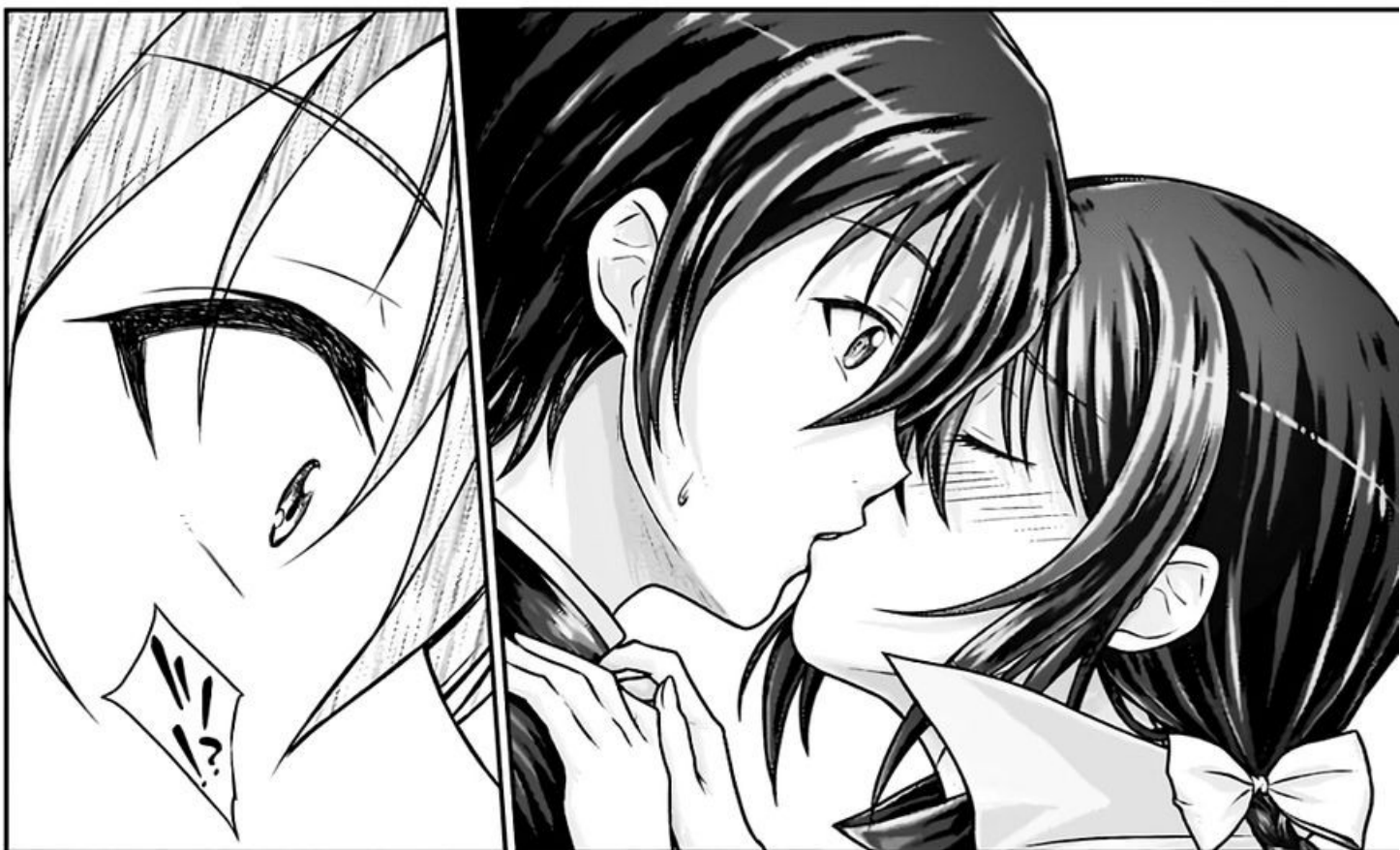
我が子みたい
に思ってるぞ

そう……
ですか……

うん？

なんでも
ないです

指





最後のキス
頬とかにして
ほしかったな

俺は口臭とか
酷くないとは思って

死ぬなよ

行ってこい

あぁ...

行ってきます



汗か?

いや
それに
しては...

いやっ

まさかな
あいつは
まだ子供だぞ

それに
どこにエロい
気持ちになる要素が
あるっていうんだ



きつとそれだ

仮にエメリンの
だとしても
きつと汗だ

魔力を大量に受け取ると
発熱することもあったはずだ

冒険者ギルド
ナローカント支部



いらっしやいませ
本日はなんのご用件で？

ドイツ様
じゃないですか！

あッ



クリス
ギルド受付嬢



いやクリス
「様」は
つけなくていい

えっ私の名前
覚えてくださって
いたんですか!?



可愛い子の名前は
覚えやすいもんさ

ほっ♡

今日は
再登録の
ために来た

はい？

冒険者証の
紛失ですか？

いや



賢者じゃ
なくなったから

新たなクラスを
もらわなきゃいけない

えっ!?



クラスは運命的に
与えられる場合

勇者や賢者など
特殊なクラスが
与えられることが多い

国やギルドの
管理する魔法道具で
得る場合

国なら騎士に
採用されたとき

ギルドなら
冒険者登録
したときに得る
などがある

元盗賊のオリビア
などのように

自分でクラスを
変える場合もあるが

賢者が
クラス変更
することは
ないはずだ

そのやあ
驚くわな

全ての能力を
弟子に譲る
魔法があるんだ

エメリンに
全部託して

俺は賢者を
引退した
ってわけだ

そうなんですか
それはなんと
いうか
残念な……

しゅん……

まあ
これからは弟子が
頑張るからな

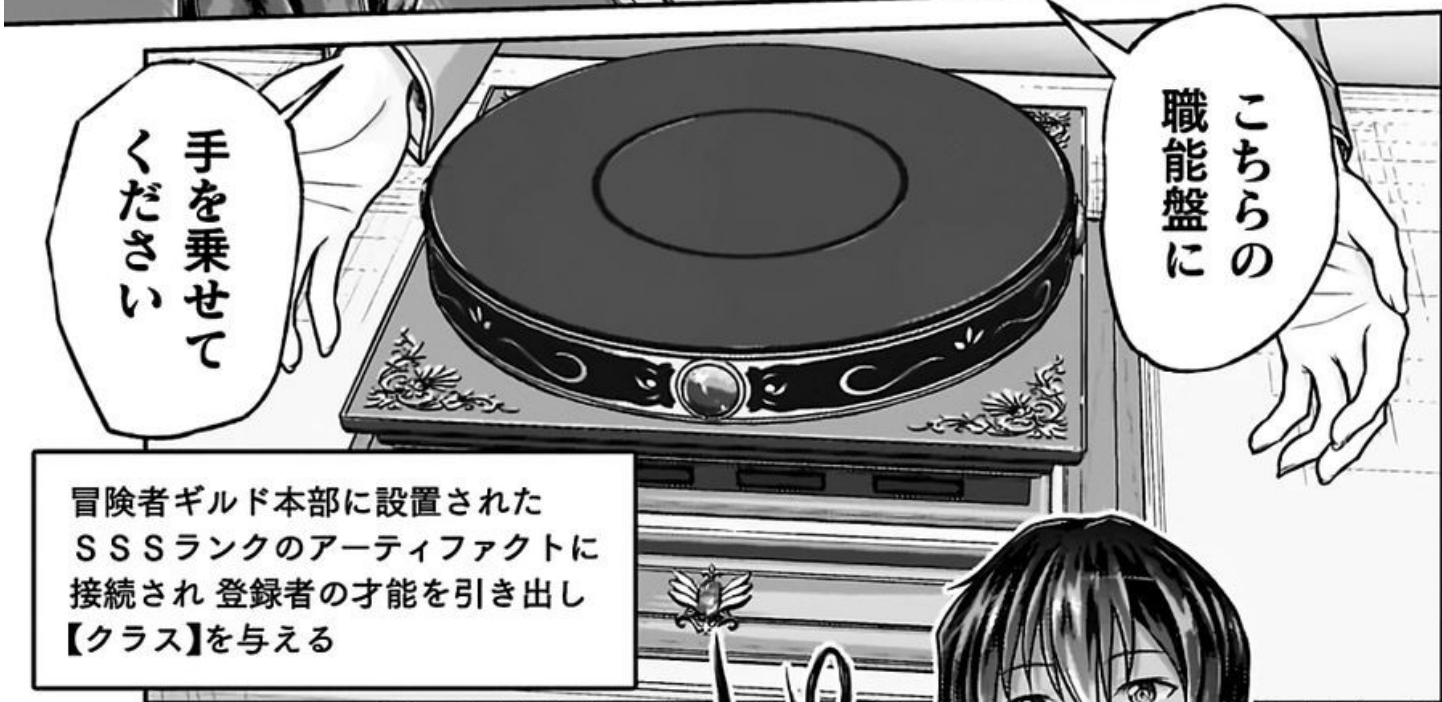
残念でもないさ



おう

身元の保証は
もはや聞くまでも
ないですし

保証金は免除で
大丈夫です



手を乗せて
ください

こちらの
職能盤に

冒険者ギルド本部に設置された
SSSランクのアーティファクトに
接続され 登録者の才能を引き出し
【クラス】を与える



魔力ではない
闘気に近い?

全身の血流が
力強く感じられる

血流が関係
するクラス!?



「第1話 END」



Yusha party
kara oidasareta ore wa
THIMPOSHI toshite
ikirukotoni natta

ローブをぬいだよ



ティンポ師？

チ○ポで
戦うのか？

意味が分からん

ステータス

ギルド証の表面に
書かれたクラスや
ギルドランクとは違い
“ステータス”は
本人だけが見られる
プライベートな機能だ

《ディック・ステイツフロッド》

【クラス】

ティンポ師:レベル1(残りスキルポイント:3)

【所持スキル】

[男の魅力:レベル1]

[精力増大:レベル1]

【取得可能スキル】

[経験値変換/性]

[性技習熟]



『経験値変換』は鍛冶師などが
仕事をすることで経験値を
得られるスキルだ

ということとは…

性的な行為で
経験値が入るのか？

しかし

精力とか鍛えて
どうするんだ

花街で
無双すんのか？



テイ……

えっと

見たことのない
クラスですね

あー
すまん

存在
そのものが

セクハラ
みたいなの
クラスに
なっちゃった

いえ！
そんな！

レアクラスに
出会えるなんて

とても運が
いいと思いますよ

物は言いよう
だな……

ええっと
ギルドの記録を
確認したところ

ティンポ師は
まだ発見されていない
クラスみたいです

ディック様が
世界で初めての
ティンポ師という
ことになりましたね

若いお嬢さんが
あんまりティンポ
ティンポと連呼
するもんじゃない

こっちが
恥ずかしくなる

そうすると……

冒険者ギルドには
未確認クラスを
検証する責任が
あるんですよね

検証ねえ
レポートでも
出せばいいのか……

いえレポートは
こちらで書きますし

必要でしたら所持者は
匿名とくめいにしておきますよ

それは
ありがたい



ギルド証を見れば
いちもくりょうぜん
一目瞭然ですし

偽装くらいは
かけておきましょう



ありがとう
これで関所で取り調べ
されることはない
だろうな

【クラス】格闘家:レベツレ100



【スキル】
ヒメマヒ

これなら
武器を持って
なくても
魔力が
小さくても
違和感
はないな



そうですね
よかったです



他の街へ
向かわれる
んですか!?

例えばの
話だよ



いえほら
未確認クラスの
取得に

立ち会った職員
としては見届ける
義務がありますし

無理せず他の奴に
引き継いでも
いいんだぞ

もったい
そんな勿体な……

いえっ
私のキャリア
にもなりますし!

まあ
少しでも役に立つ
ならいいけどな

…あの
ディック様?

これから
未確認クラスの

検証をして
みませんか?

検証?

はい

能力がどう働くのか
実際に確認しておいた
ほうがいいのかと…

確かに
そうだな

でもいいのか?
受付を空けちゃっても

ええ

遅番の子が
出勤して
くるまで

誰も来ないと
思いますので……

たっぷり

時間はあるかと

そうだな
お願いしようか

ありがとうございます
ディック様

それでは

仮眠室のほうに



所持が

「男の魅力」
「精力増大」

取得可能が

「経験値変換」と
「性技習熟」だな

初期スキル
二つというのは

当たりクラスと
同一ですね

初期
スキルポイント
が3だ

3ポイント
ですって!?
それはすごい!

すごいのか?
よく分からん

賢者は
初期スキル三つに
スキルポイント5
だったからなあ

レベルが
上がると説明が
解放されていく
タイプだと思うぞ
勇者がそんな形式
だったらしい

スキルの効果は
分かりますか?

うん
分からないな

なるほど...

メモ

うーん
『男の魅力』のほうは
なんとなく
分かるんですけど

ほう
どんな
効果？

クラスを取得したときに
ディック様がなんだかぐっと
魅力的になった気がしたんです

んん？
別に顔は変わって
ないと思うがな

いえ
顔とかじゃなくて
雰囲気です

『精力増大』はたぶん
体力が上がって

『性技習熟』は
器用になるんだらう
ってのはなんとなく
分かる

『経験値変換』は
早めに取得しておいた
ほうがよさそうだな

1ポイント
振っておくぞ

かしこまりました
スキル振りには
どうぞご自由に

いやまあ
共同研究みたいな
もんだからな



あとは…
クリスの体感で
効果が分かるなら
試しに『男の魅力』
を上げてみるか

それもいい
かと思えます

『男の魅力レベル1↓2』



!? ズンズン

ズンズン

どうした？
痛いのか？

いっいえ
ぜんぜん

痛くは……
ないんですが……

体調が悪いなら
医務室に
連れて行くぞ

いえ……
そんな……

だだめです！

そんなことしたら
おかしくなって
しまいますので！

なぜだ……

本人に自覚が
ないのが
厄介ですね……

詳しく教えて
もらえないと
分かりようが
ないな

まああ
その……
説明は後に
するとして



あ……

いや

あつじやないだろ
これも何かの検証か？

ええっ

その



ティンポ師
という名前の
クラスですので

クラスに就く
前と後で

チ……

おチ……

だっ……男性器の
大きさとかに
違いはないかなーと

うーんまだフルじゃ

ないから分からんな

えっ……まだ

大きくなるんですか？

いや普通に
考えてそうだろ

そんなこと
言われても

その……

触るのも
見るのも
初めて
ですので……

転職前ならこれが
全開だった……

今ならもう少し
いけそうだ

なんだかヌルヌル
していますけど

クリスの手が
気持ちいいからな

そっ

そうですか……？

検証は？

あはい……
その初めてなので
比較はできませんが

すごく
大きくて

硬くて

熱いんですね

まあ
前よりはな

こんなに大きいのが
は入るんでしょうか……

すっ♡

すっ♡

どこに入れていいんだ？

えっ
あ……

入れるなら
準備しないとな

きゃっ!?

そのまま続けろ
俺もクリスの
準備をしてやるよ

ひょっ!?

はいっ!

『性技習熟しベルー』
を取得してみるか

んっ！
んっ！
んっ！



ワキュッ

だっ
だめです

感じる部分が
はつきりと分かる

乳首はあ……っ!?

なんでこんな
気持ちいいとこ
ばっかりっ!?

ディック様
のも…



ゆる

クリス
なかなか
覚えがいいな

コシキ

コシキ





承知しました

ディック様

クリス
股を開け



うん!?
うん!?

っぐ…

おっ

おおきい……
痛っ……

少し狭いが
なかなか具合が
いいな

気に入って
いただけただのなら
うれしいです

19

処女
だったか

はっ

はい

クリスは支配されたい
願望がありそうだな

女にしてやったんだから
俺にお礼を言わないとな

はい…

私の処女を
奪ってくれて

ありがとうございます
ございます
ディック様

今度は全部入れて
やるから俺の形を
しっかり覚えろよ

えっ？

あぐっ！

かは…っ！

いぎっ！

くっ

かは……

あっ

ふああん！

恥ずかしいです……

こっちでオナニー
してたのか？

おっは

はっ
はい！

んんー

クリスは
いやらしい
子なので

おっはいでオナニー
してしまいました！

おっは
いっ
♡



クリも
剥けてやすくなるくらいに

ふあああ...
だめえ!

クリスのつ
クリちゃん
弄っちゃ...

ひあああっ!!



あああああっ!!
デイック様!

ズッ

ズッ

これ以上
したら
ぬちゃっ!!

いつちやい
まあっ!!

イけよっ

初めてのくせに
ガン突きされながら

下の口でチ○ポ
しゃぶってイけよ

ふあああああっ!!

ーちおちおちー!





イクッ



イクイク
イクイク
イクゥー!

クッ
クッ

クッ
クッ



ふう……
中に出したけど
いいよな

は……
はいい……

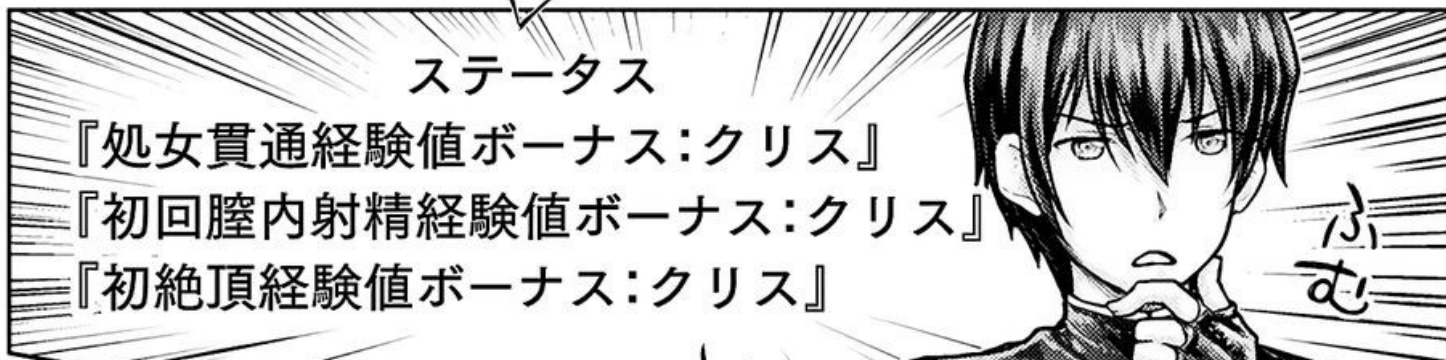
ディックさま
専用のお孕み袋に

いっぱい
注いで
くださって

ありがとうございます
ございますう……

はあ

はあ



ステータス

- 『処女貫通経験値ボーナス:クリス』
- 『初回膣内射精経験値ボーナス:クリス』
- 『初絶頂経験値ボーナス:クリス』

ふむ



処女貫通の
ボーナスが
大きいな

レベルが3に
上がっている

取得スキル
ポイントは
1レベルあたり
3のようだ

もみ

もみ

はっ

あっ

はあ

んっ

あっ

あ……また
ディック様の
おチ○ポが……

嫌がっても
無駄だぞ
お前は俺のオナホ
なんだからな

「精力増大△は
レベル1でも
有用ぞうだ

いえ
そんな……

むしろ
嬉し……

ひああああんっ！

無理矢理
オナホ扱い
しているのに
感じているな

射精量や回復力の
チエックのために
「精力増大レベル2」
に上げてみる

新しいスキルが
解放された

スキル名は『男根強化』

とりあえず
レベル1だけ
取ってみるか

んっ!?

あっ
ああ……



あおっ

おっ

おおああっ!

おふっ

あおっ!?



効果がありそうだな

ついでに『経験値変換』も

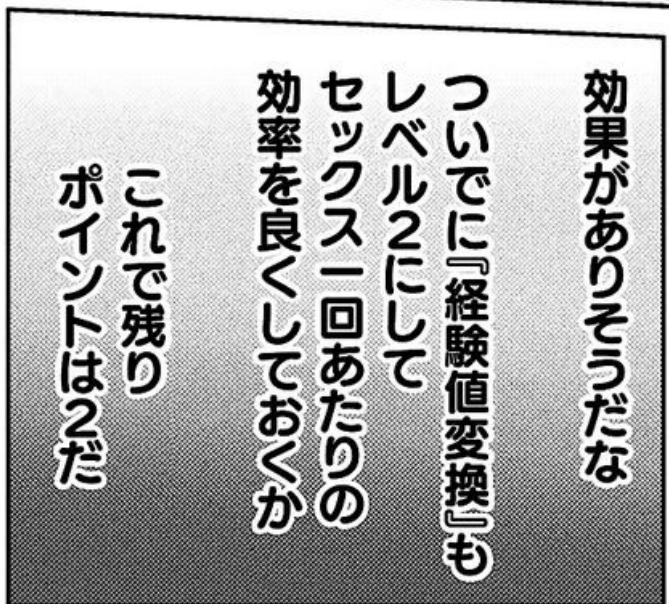
レベル2にして

セックス一回あたりの

効率を良くしておくか

これで残り

ポイントは2だ



ぬっ

あっ

あおおおっ!

いっ

イグ……

あひい……

奥に出すぞ





『精力増大レベル2』
のほうがたくさん
出ただろうか？

ドロ…
どう
だった？

あひい……

まともに
考えられない
ようだな

スキルの検証については
後で教えてやろう



さて今度は

『精力増大
レベル3』の

検証をしようと思
思うが構わんな？



あーい



んや



ひやい……

すすす



Yusha party
kara oidasareta ore wa
THIMPOSHI toshite
ikirukotoni natta



**Yusha party
kara oidasareta ore wa
THIMPOSHI toshite
ikirukotoni natta**

絶え間なく検証……!!

クリスには
未確認クラスの調査
という名目で

一週間ほど有給を
取ってもらった



『ティンポ師』についてわかってきた
経験値ボーナスがつくプレイがある
例えば
処女貫通
初回膣内射精
初絶頂
アナル貫通
初回口内射精

そして同じ女との
性交回数でもボーナスがついた



今日がその
最終日だ

勇者パーティから
追い出された俺は
「ティンポ師」として
生きることになった



《ディック・スティッフロッド》

【クラス】

ティンポ師：レベル10(残りスキルポイント：0)

【所持スキル】

[男の魅力：レベル5][精力増大：レベル10]
[経験値変換／性：レベル10][性技習熟：レベル5]
[男根強化：レベル1][隷属化：レベル1]

【取得可能スキル】

[絶倫][経験値吸収／性][精液媚薬化]
[強制発情][生殖能力強化][強化儀式／性]
[精力変換]

【所持奴隷】

クリス・トリスクリオス／書記官：レベル24

もう夕方か
腹が減ったな……

飯に行くぞ
体を洗って
服を着ろ

ふあ……
はい……

ごしゅじん
しゃまあ……

精液まみれ
の雌から

美人受付嬢に
戻っていく様は

きゅっ

なんとも

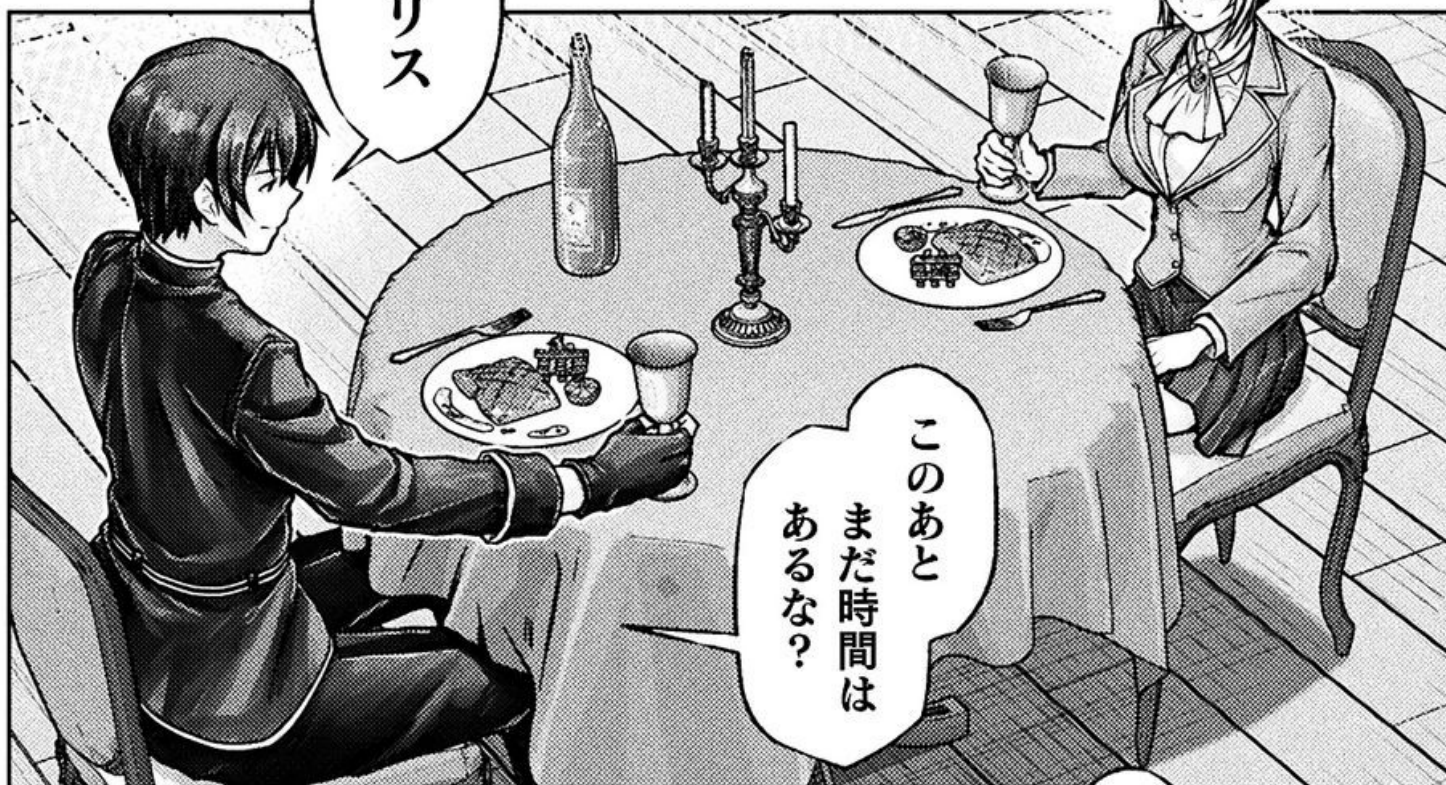
背德的だ





クリスの有給も
終わることだし

高級料理店で
食事でもして
おぎら
労ってやらないとな



クリス

このあと
まだ時間は
あるな？



もちろんです

ご主人様……



お前に
似合うと思って
買っておいた



お前は俺の大事な
ペットだからな

俺のほうこそ
お前を一生
大事に使ってやる



Dの刻印が

ディック様の
所有物の証：
あかし
♡

一生大事にします



ありがとうございます
ございます

クリスは幸せ者です

ご主人様のものです



クリスを
可愛がってください



すっかり淫乱に
なっちまったな



フツッ



んんん

んんん

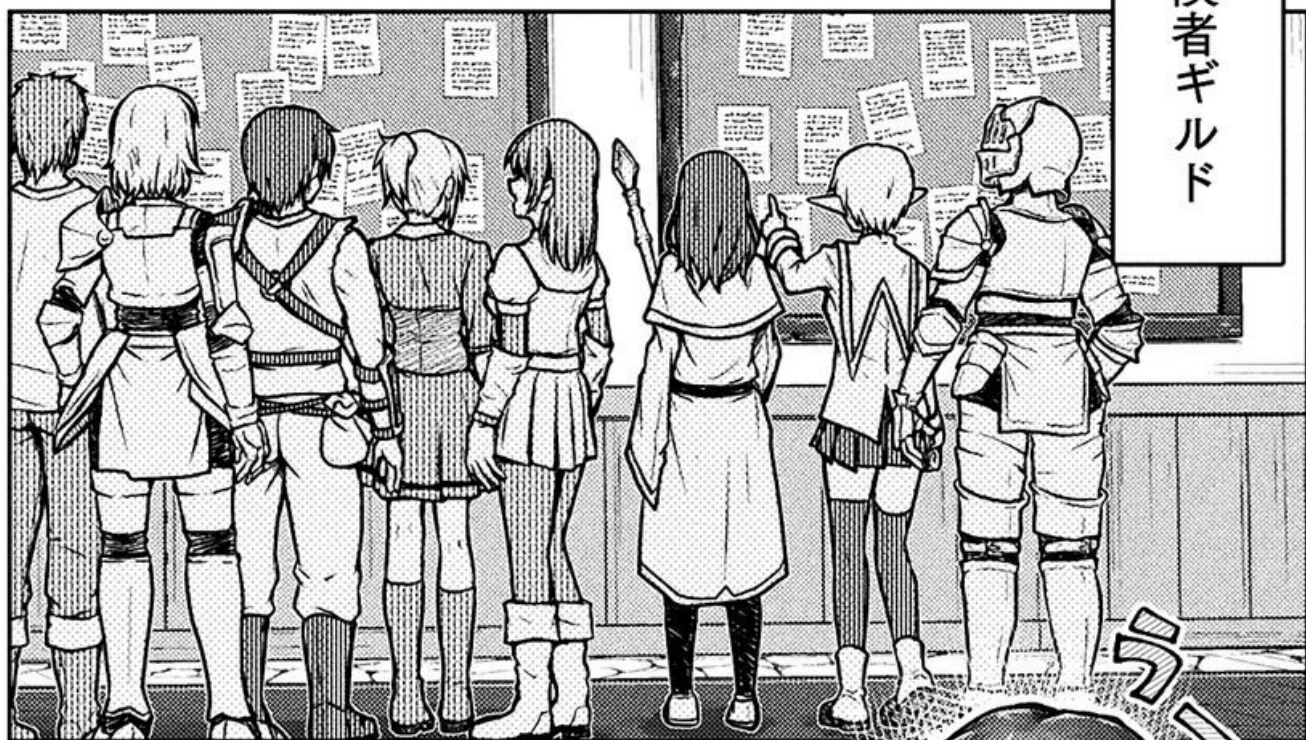
んんん

しっ
師匠……？





冒険者ギルド



うん...

ティンポ師になった今
魔族領域の調査は
無理だな

低ランク魔物の
討伐くらいなら
どうにかなるか





実に可愛い
ペットだ



まあ
すぐに依頼を
受ける必要もない



師匠っ



元気できやっているか？

すま

お陰様で



また
お会いしましたね

おう

脱落者もなく

全員生還できました

おお
そりゃあ
優秀じゃないか

さすが
俺の弟子

いえ……

あまり順調とは……

それに
師匠の忠告が
なければ

きっと全滅
していました

そうか

相当辛い戦い

だったんだな

なぞ

なぞ

なぞ





まさか師匠と
クリスさんが
恋人同士だなんて
知らなくて

その
びっくり
しました……

まあ
恋人というか
色々あって
な……

そうですか……

エメリン？

ずるい……

師匠に会ったの……

私のほうが
ずっと先なのに……

私のほうが

師匠のこと……

いっぱい
好きなのに……





まああれだ
師匠を……

おじさんを
取られて

寂しいのかも
しれんが

そうじゃないです！

私っ

ディックおじさまのこと
男性として好きです



そうか
でもな

お前は姉さんの
子供だからさ

お母さんの子供だから
おじさまに恋しちゃ
いけないんですか？

エメリン
少し落ち着け



落ち着けないです

だつてっ
私っ

ずっと
我慢してたのに

おじさまのこと
取られるなんて



相手がお仕事の
女の人のときや

一晩だけの
女の人のときは
我慢できました

本当は私が
してほしかったけど
おじさまが困るから
と思つて……

エッ
エメリン……さん……？



なのにつ

会つて二週間も
経つてない女に
取られるなんて……



待つ
全部説明する

聞きたくないです

ゴッ
ゴッ

『男の魅力』スキル全開



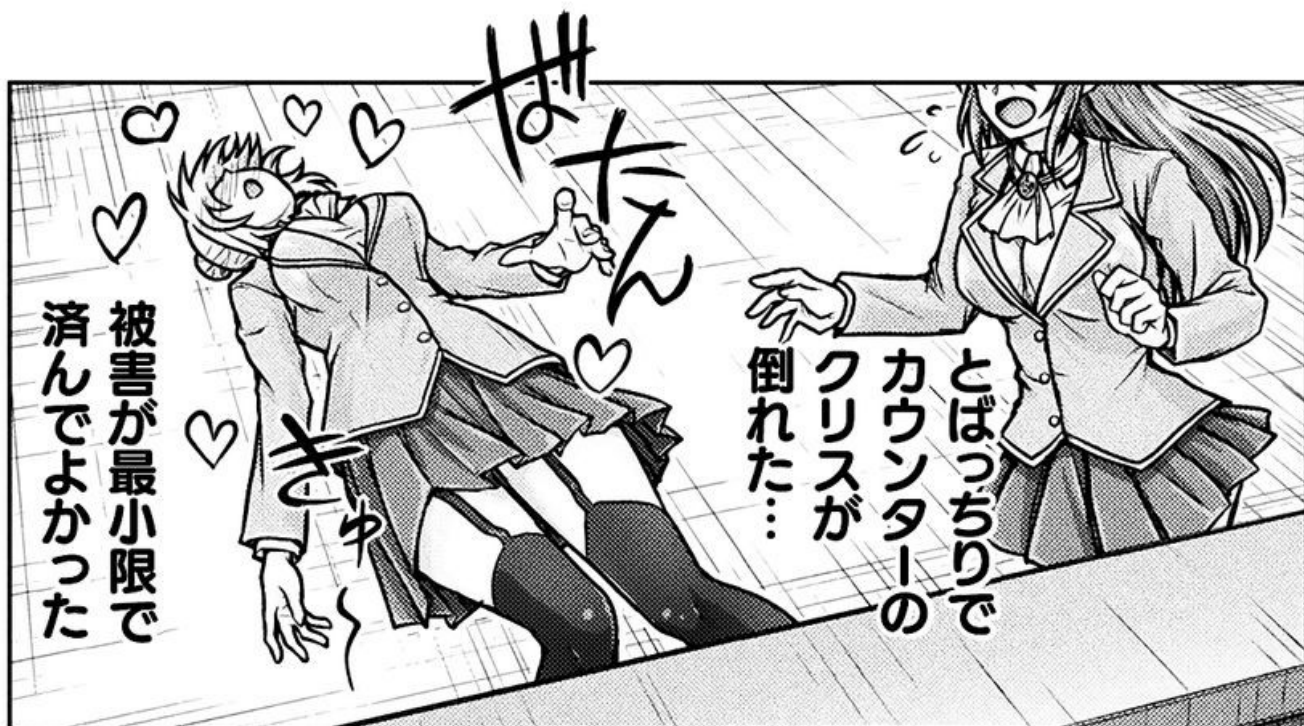
ちむきえん!!



おっ
おじさまあ……



ホッ
うまきいった
ようだな





ふあ……
おじさま……

これ
夢じゃない
ですよ……

現実だぞ

俺も気持ちよく
してくれよ



綺麗だ

他の男の前では
髪を解ほどかない
でくれよ

ふあさ

えっ

それって



どういう
意味ですか？

ただの
独占欲だよ

お前は
俺だけのものだ
他のやつには渡さん



種付けするぞー!

ふああ

あッ



はい……

おじさまの
あかちゃん
ください!

きゅ♡

エメリン
俺の妻に
なれっ!



はいつ!

くっひああ
あああああああ!!

わたしっ
おじさまの
奥さんだから……

せーえき
ぜんぶっ

中に注いでいくわっ

じじじっ!!

ありがとう
エメリン
愛している

もう……
はかあ……

姪+弟子+幼妻?



Yusha party
kara oidasareta ore wa
THIMPOSHI toshite
ikirukotoni natta



**Yusha party
kara oidasareta ore wa
THIMPOSHI toshite
ikirukotoni natta**

勇者パーティから
追い出された俺は

「ティンポ師」

として
生きることになった

THE COMIC

第4話

ステータス

- 『処女貫通経験値ボーナス:エメリン』
- 『初回膣内射精経験値ボーナス:エメリン』
- 『初絶頂経験値ボーナス:エメリン』
- 『通算性交十回目経験値ボーナス:エメリン』



レベルも
11になった

いざという時
エメリンを
守るためにも

ティンポ師でも戦闘能力を
伸ばせる方法を模索しよう



そうなるに経験値取得源の
確保が必要だ

クリスや追加のパートナーとの
セックスをエメリンに
認めてもらおう

ボーナスの形式から考えて
いちいち許可を取るのではなく
自由にできるのがベストだ

おじいさま



今度は私がご奉仕して
差し上げます

おの
それは興奮
するな

頼む



気持ち
いいですか？

ああ
最高だ



私の前で
他の女の子のことを
考えないで
くださいね……？

すまん
今はお前のこと
だけ考えるよ



ふふ
嬉しいです……

おじさまの
喜ぶことなら



なんでもして
あげますから……

だから



だが
それについては
ちゃんと後で
話し合おう

……はい



いっぱい出ましたね……



ふあ……熱いのきてますよ……



パートナーを認めてもらいたいわ



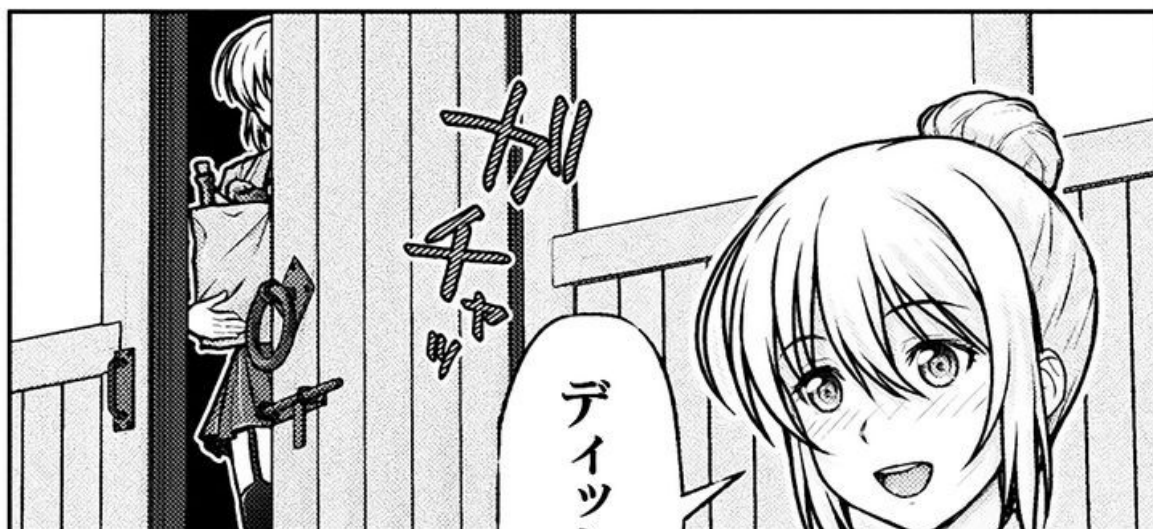
全部ぜんぶぜんぶぜーんぶ

浮気なんてできなくなるようにト

搾って差し上げますからね？



少し荒療治が必要かもな……

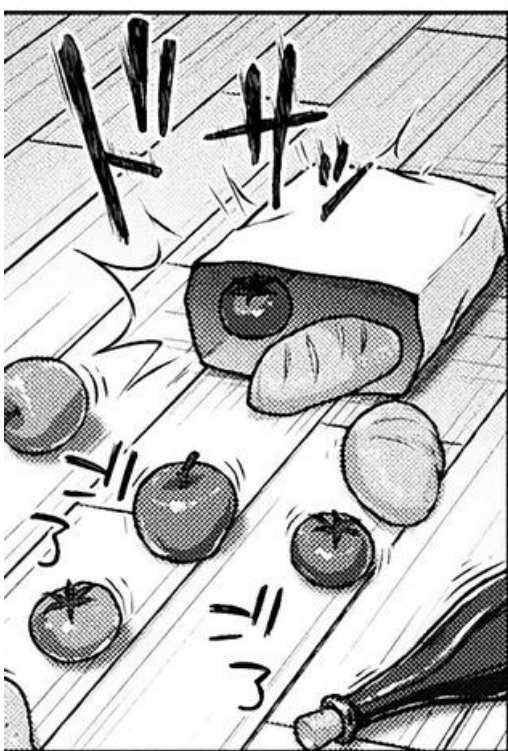


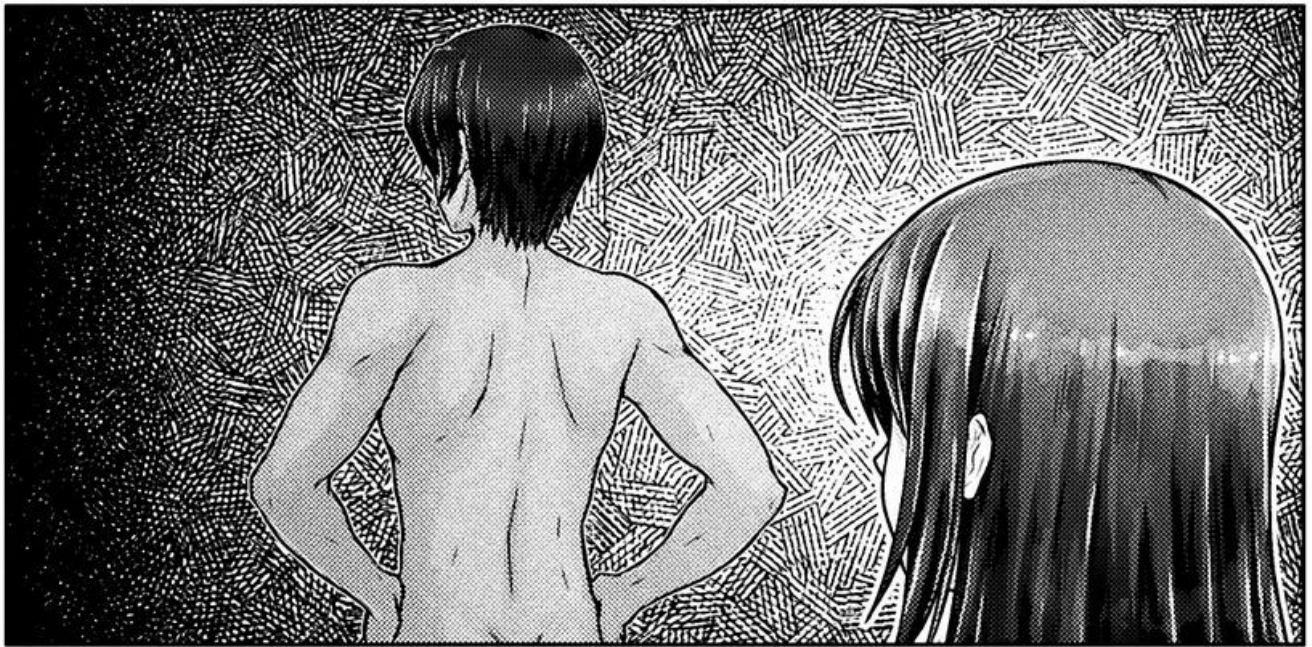
ディック様？



ご主人様あ？









な、なに？



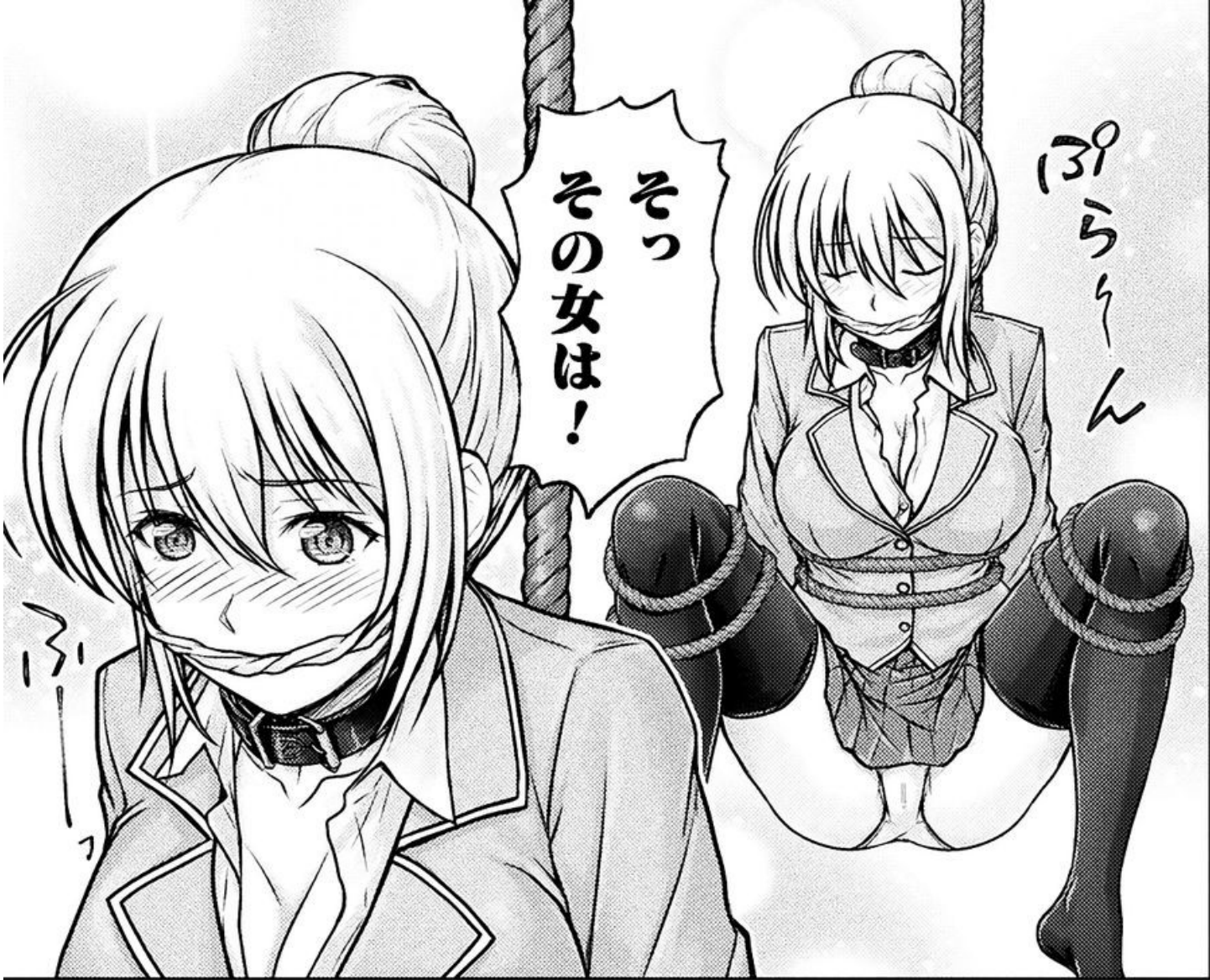
まあ

時刻的には
夜だけど

おはよう
エメリン

おはよう





そっ
その女は！

130
らん



またっ
おじさまを
誑かしている
んですかっ！

このっ
ドロボウ猫！

いや

猫じゃない

紹介するよ

俺の飼い犬の
クリスだ

飼い犬……
ですか？

俺はさ

妻もペットも
大事にしたいんだ

二人に仲良く
やってほしい
と思ってる

その女は
それを納得して
いるんですか？

納得？

そうか

少し説明が
足りなかったね？

こいつは俺に
絶対服従だ

そういう風に
馴れたからな





クリスはおあずけだ
エメリンが先だ

おっ

クワッ



浮気相手に
取られないように
全部残らず
搾り取ってくれる
んだったよな？

しゅる

しゅる

おっ

ぐんぐん

待たせたな
エメリン





あはあああああ——っ！

イクっ！

イキますっ！

おじさまのせーし
あかちゃんの
お部屋に

いつぱいおかわって
イキますっ！



クリスへの
優越感や対抗意識が
いいスパイスに
なっているようだ

ふふふ
おじさまったら……
何十回もした後なのに
こんなにいっぱい……

こんなの絶対
孕んじゃい
ますよお

ああ
そのつもりだ

3P





さすが俺の
雌犬奴隷だ

エメリン
大好きだよ

ひゃう!!

え……
まっ待って
おじさま……



クリスはエメリンの姿を見て
悔しさと興奮でイッたようだ



約束した
だろうか？

ふあああ……
もっもっ

お♡♡

あ♡♡♡♡

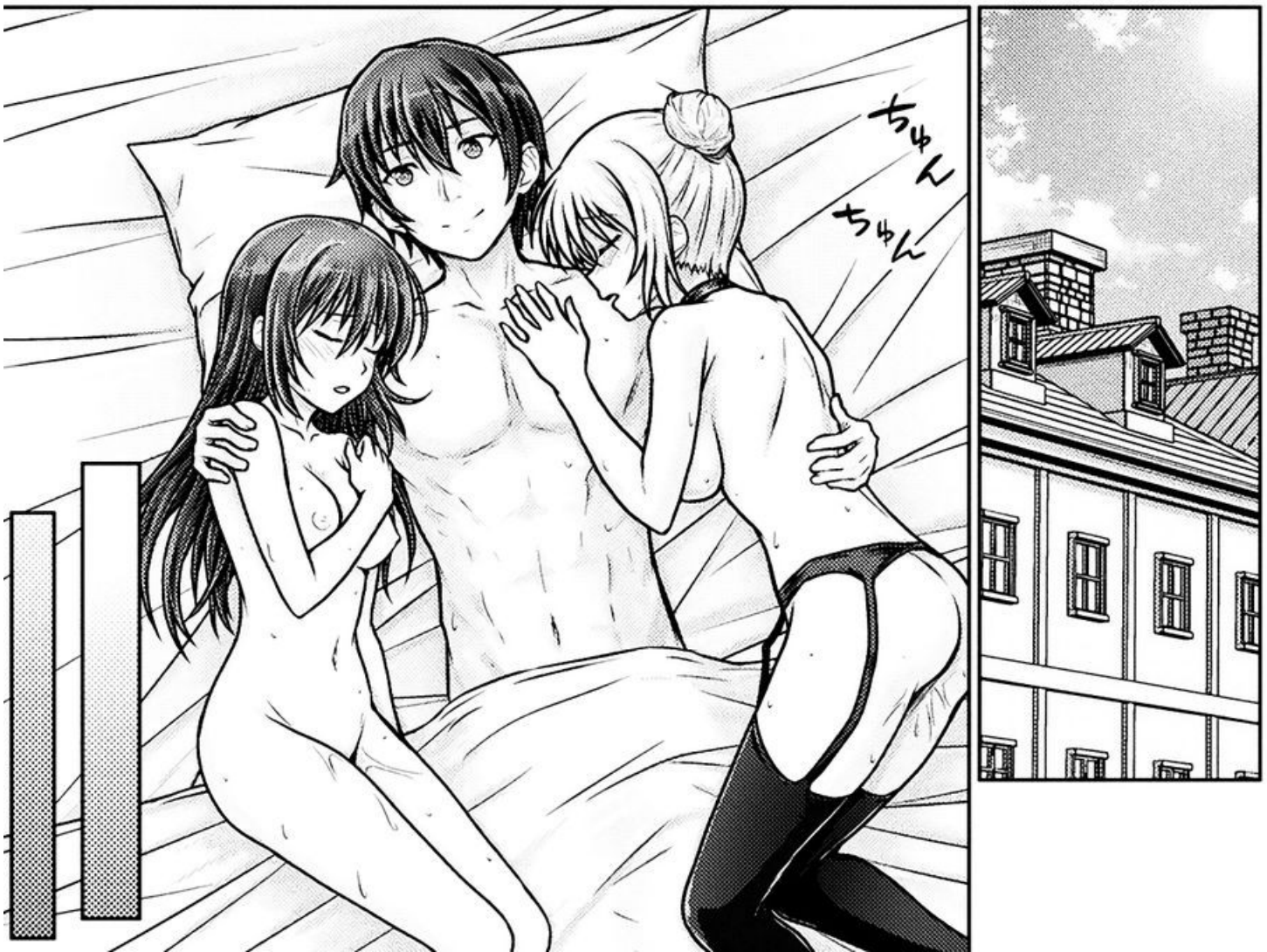


ちよっ♡♡

休ませてもら……

あ♡♡♡♡





俺たちはエメリンに
「ティンポ師」
について説明した

初めから
言ってくれば
私だってあんなに…

言ったら
納得しないまま
浮気を許すだろ

当たり前です
おじさまのためですから

俺の事情より
エメリンの
気持ちの方が
大事なんだよ

なぜ
なぜ

もっもう……
おじさまったら……

エメリン

この後の予定は？

遠征の準備を

屋頂には魔族領域へ
再出発の予定です



皆さんどうも意固地になっ
てている様子で……

私もそう
言ったのですけど



遠征と遠征の間は
充分に休むよう

アドバイスした
はずだがな



デートですね♡

いいんですか
おじさま?



クリスは?

出勤日ですので
ギルド支部へ

それじゃあ
エメリンの準備に
付き合ってから
ギルドに顔を出すよ



駄犬は
邪魔しない
てください

私と二人っきり
がいいんです

ダメですっ

私もお散歩に連れて
行ってください

ご主人様



おきんぽ♡

分かりました
ではいずれ
時間がある
ときに



おじさまっ
デート楽しみです

買い出しですよ
エメリンさま

嫉妬をも凌駕する絶倫で
一件落着——!!

ヴァルキリー 次回更新へ続く!!



Yusha party
kara oidasareta ore wa
THIMPOSHI toshite
ikirukotoni natta



**Yusha party
kara oidasareta ore wa
THIMPOSHI toshite
ikirukotoni natta**

エメリンの遠征用の
買い出しに向かう

だいたいの装備品は
良質なものを揃えてあるので
消耗品の補充が目的だ

買い出しデートにいざ出発♪

クリスにお勧めの店を
聞いておいたので
効率的に移動できる

次は魔法薬店だな

勇者パーティから
追い出された俺は

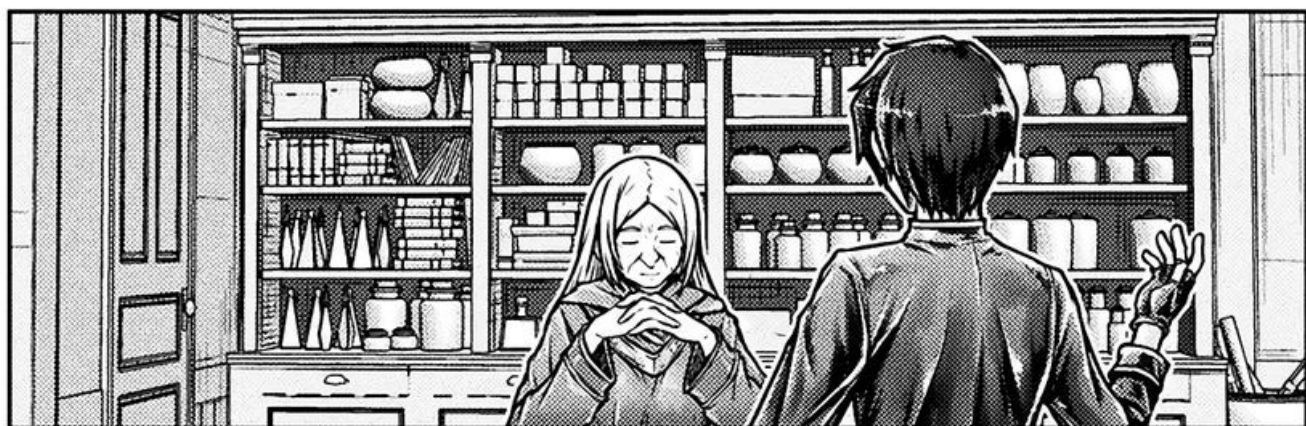
「**ティンホ師**」として
生きることになった

第5話

THE COMIC

弥弛

原作：淡海翁人
キャラクター原案：sabet





その……

モジ
モジ

惚れ薬などを
師匠に使うのは

……と
どうかなー

薬を使うまでもなく

俺はエメリンに
惚れているんだが



うっ……
しっ師匠

そんな
恥ずかしいこと
お店で言わないで
ください

もうっ
いままです

おはな

媚薬か……
そういうことが
できそうなの
スキルもあったな



あー

昼には少し早いけど…
何か食いたい
ものはあるか？

じゃあ
甘いのが
いいです

それなら
暑くなってきたし
冷たいのにするか



ナロルカシトの隣の都市
ブーティニードでは
多くの氷の屑魔石が採れる

ブーティニードと
交易のある都市では
多様な冷菓が売られている

少々値が張るが
ちよっとした贅沢だ



わあ！
師匠

覚えてて
くれたんですか!?

んー
まあな

そういえば
エメリンは
この店に行きたい
と言ってたな



ドン
どうしましょう……

はぁあぁあ
じゃなくて
シヨコラ？

ええとっ
ええと……
桃……？

あまり食うと
腹を冷やすから
二つまでにしておくか

あぁ
きくも
木苺も
捨てがたい



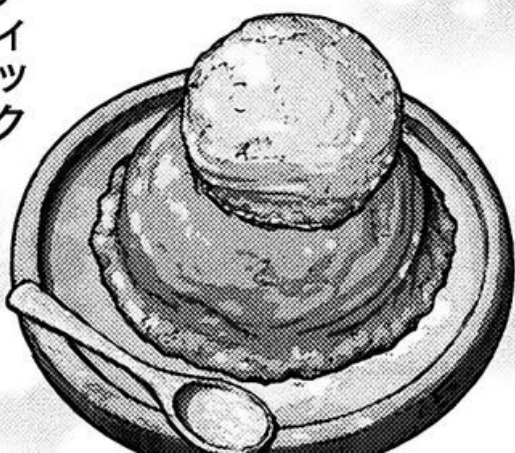
はぁん
エメリンが諦めた味を
頼んでやるっ

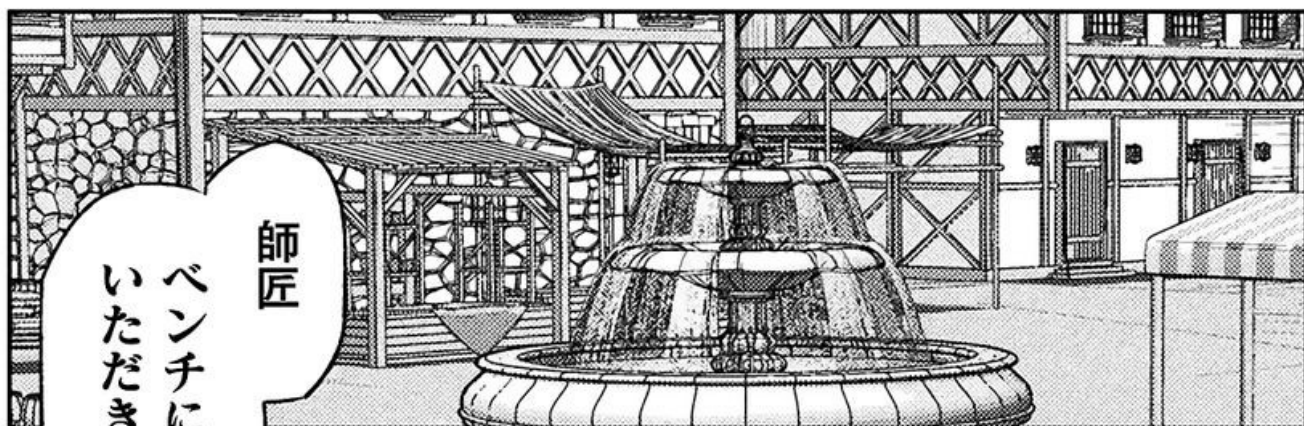
エメリン

『桃と南国産の果実』



ディック
『シヨコラと木苺』





師匠

ベンチに座って
いただきましょう



あ
あ

わあ……



ぽ
ん



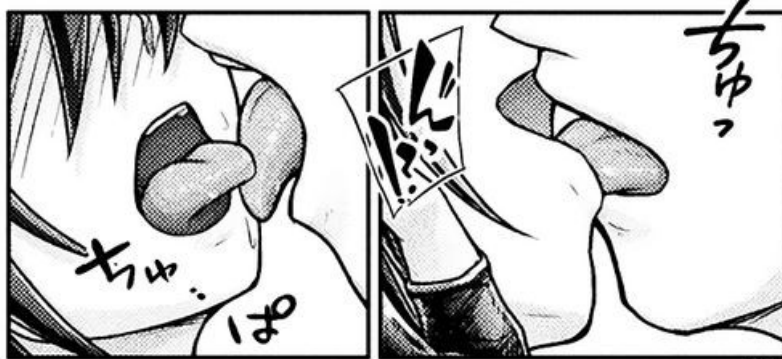
わっ
すごい

冷たくて
甘いです!!



これが氷菓ですかあ







ええ
いいですよ

俺の用事だが
一緒に来てくれるか？



一カ所寄る
ところがあった

はい？



付与魔術工房



ケーテ
来たぞ

カララ

カララ

カン

カーン

ありがとう
先輩

約束の時間より
早めですねー

そちらは噂のー
とーっても
優秀なお弟子さん？

ゆっ
優秀だなんて……

優秀なだけじゃなく
とても可愛いだろう

ああ
近くを通りかかった
ついでにな

しっ
師匠ったら！





付与術師の
ケーテだ

特注の装備が欲しい
ときは頼るといい

よろしくお願ひします

よろしくー
お願ひねー

未来の大賢者さん



職業柄

あまりお世話になることは
ないかもしれませんがね

そうねー

賢者ですものねー

ディック先輩は
よく来てくれたけど

先輩は
変わってるからー



お弟子さんも苦勞
してるでしょう？

オレのどーんが
かわっている
というんだ……

いえっ
その……



ケーテ
頼んでおいた物は
どうなった

はいー
持ってきます
ねえー



エメリン？
どうかしたのか？

だって

職人の方が
女性だなんて
思わなくて……

いや
あいつとは別に

そういう関係
じゃないぞ

師匠に
その気が
なくても

ケーテさんも
そうだとはい
限らないですよ

俺も鈍感なほうだと思いが
それでもケーテはない

彼女は研究開発一辺倒の変人だ
仕事か恋人というより
仕事か人生ってタイプだ

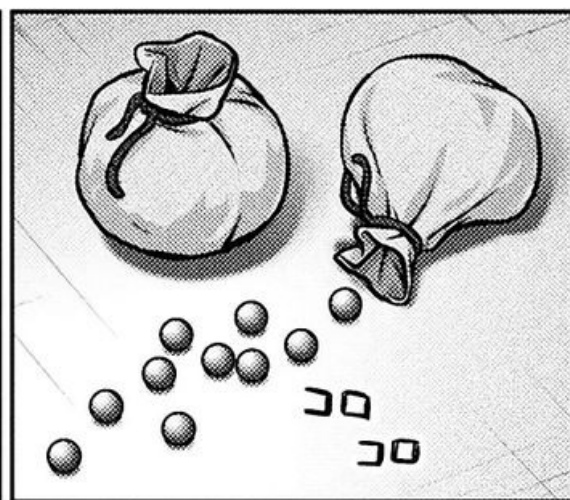


とりあえずー
付与が終わった分が
これだけですー

おう
助かる



見た感じ問題は
なさそうだな



はいー？

もう一つ
頼みたいことが
あるんだが



センパイ
婚約指輪

ですかー？

測って
くれないか

この子の

指輪の
サイズを

その

そのうち
結婚指輪も
頼むつもりだ

それはそれは—
お幸せに—

しっ
師匠……？

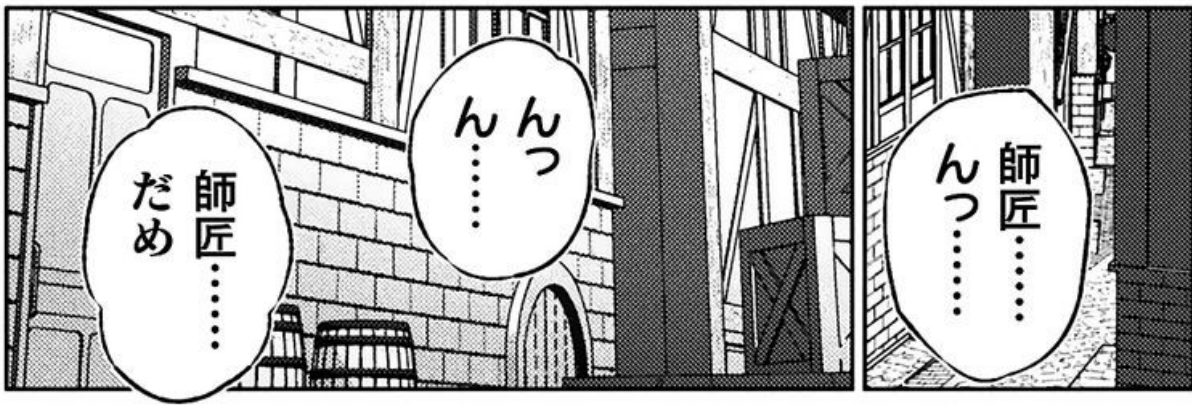
無用な争いや心配事が
降りかからないように
と思っただけだ

牽制は大事だと
常々言っているだろう

そういうことだから
別に他意はないぞ

……幸せに
なってもらおうぞ

はい……



妊娠させて
幸せにしてくれますか？

エメリン!!

師匠……

師匠のが

私のおなかつ
拡げていきますう……

ふああ

師匠……

ちゃんと
腰も動かして

頑張り屋の
いい子だ

っっが……

ししよー専用の
あかちゃん袋に

ご褒美いっぱい
いっぱいくらしゃいー！



ふああ
こんな……

スポスポ
されたら……



あつう
ばかになろう……

大好きな

おじさまの
せーえきつ

いっぱい
飲ませてえー！

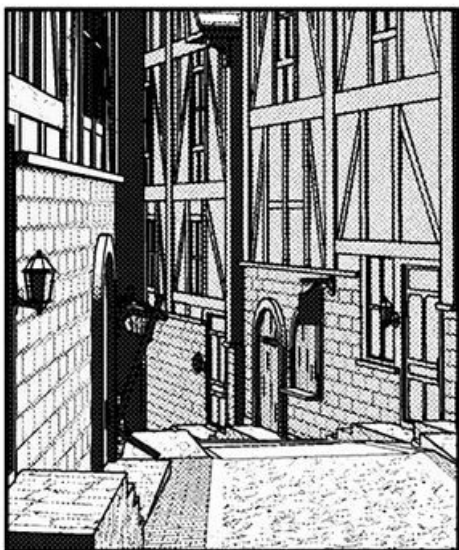
ヒュッ

おじちゃんのカートで
イクイクイクイク

ふあふあ
イク……ツ!!
ふあイクイク……ん

~~~~~!!

おめおめ……♡



おめか……  
しゅきなのお……

おじちゃん  
イクイクはなむなぐで……







すいませーん ♡  
遅れちゃいましたー ♡



エメリンさん  
何かあったの  
ですか？

聞いちゃった……





あら、おどろかされた

なんでも  
ないですよ

別に



嘘だ



大丈夫か？

んんん……



さあ  
冒険に行っちゃい  
ましようかー

ふんっ

自信満々っ!!

怖いんですか？

安心してください

今の私なら  
何が出てきても  
一撃ですから

アキ

エメリンどのお？

そっ  
そっか...

はあ...

あ...

勇者一行は  
エメリンの  
奇妙な変化に  
首を捻りながら  
二度目の遠征に  
出発すること  
にしたのだった